

# 対話通じ遠野の未来を創造 「みらい創りキャンプ」報告会

対話やグループワークを通じて、遠野のまちづくりについて考える「みらい創りキャンプ」の報告会(市・富士ゼロックス(株)共催)は8月12日、旧土淵中学校で開催されました。市内の観光業者、大学生や高校生など70人は、遠野の魅力あるまちづくりについて理解を深めました。

対話やグループワークを通じて、遠野のまちづくりについて考える「みらい創りキャンプ」の報告会(市・富士ゼロックス(株)共催)は8月12日、旧土淵中学校で開催されました。市内の観光業者、大学生や高校生など70人は、遠野の魅力あるまちづくりについて理解を深めました。

づくりの可能性を広げている」と講評。今後、同キャンプの拠点として「みらい創りラボ」を旧土淵中学校内に開設し、対話を通じたまちづくりを進める予定です。



それぞれの研究成果を報告する参加者

## おらえのべゴが一番だ!! 和牛共進会今年も元気に開催

和牛の発育状況や見栄えなどを競う「遠野地方和牛共進会」(花巻農業協同組合・遠野地方和牛改良組合共催)は8月8日、旧遠野家畜市場で開催されました。黒毛和牛の雌が5部門に合計39頭出品され、市内外から参加した畜産農家は自慢の和牛を披露しました。最高賞の名誉賞には▽未經産の部「さくらまや」出品者。



自慢の牛を披露する参加者

阿部和男さん(附馬牛町)▽経産の部「きくの」出品者・石橋耕一さん(青笹町)がそれぞれ選ばれました。このほか参加者が和牛を審査する「ジャッジングコンテスト」や給餌講習会も行われ、参加者は和牛の管理に理解を深めました。5部門で優勝した和牛は、9月3日に開催される岩手県畜産共進会に出品されました。

## 遠野の町家の調査を通じて 遠野高校生がまちの未来探る

さまざまな分野の研究者や学生が遠野高校生と共に遠野の町家の調査や発表、修復などをすする「三田屋オフキャンパス」は8月22～25日の4日間、市街地で行われました。市外の学生や高校生32人は市街地の成り立ちなどを調査し、理解を深めました。高校生は24日、6班に分かれてそれぞれ白井金物店やまだ松林堂、新里陶器など6

店舗の家の間取りや屋号、年中行事などを聞き取り調査。25日には中央通りの旧三田屋で調査結果を発表し合い、遠野の市街地の成り立ちを学びました。このほか武蔵野大学建築学部が学生らが旧三田屋の修復作業などを行いました。同事業を企画したアタカケンタロウ建築計画事務所の安宅研太郎さんは「遠野の子どもたちに自分のまちのことをよ



調査結果を報告する遠野高校生

く知ってもらおうきっかけになればと思います。またこれらの事業を通じ、旧三田屋を中心にまちのにぎわいにつなげたい」と期待を込めました。

## 市民や有識者と共に考える 未来の庁舎位置・機能を検証

少子高齢化に対応した新たなまちづくりの手法を探る「遠野市進歩まちづくり検証委員会」(山田晴義委員長、委員7人)の第2回会議は8月22日、市役所とびあ庁舎で開催されました。

委員や市職員、地域づくり団体の代表など40人が出席し、整備を検討している市本庁舎の整備場所や庁舎機能のあり方などについて検証。本市市長は「少子高齢化、人口減少などの課題に対応できる遠野ならではの在り方に意見を頂きたい」と期待を寄せました。



市から示された案について意見する委員

いて、「遠野スタイル」による庁舎機能のあり方を語る市民懇話会(河野好宣座長)から5月に提出された提言内容に基づき、▽とびあ庁舎周辺▽穀町周辺▽旧本庁舎周辺▽の3案を提示。機能については同懇話会からの提言内容のほか、市職員のアンケート結果なども踏まえた市の素案を示しました。

委員からは▽自治会や行政区など地域の現状を精査した上で、庁舎位置などを検討するべき▽庁内で横断的に考える必要があるーなどの意見が出され、本格的な議論は11月に開催される第3回の会議に持ち越されました。



土砂崩れが発生した宮守町達首部の湯屋地区

## 8月9・10日 大雨被害

8月9・10日の記録的な大雨により、市内では床下浸水や道路への冠水、土砂災害など、多くの被害がありました。被害総額は約5,000万円。市は8月9日、災害警戒本部を設置し市内の被害状況の把握・復旧にあたりました。主な被害は以下のとおりです。

- 住家の床下浸水…7件
- 道路被害(通行止め・冠水・損壊など)…23件
- 土砂災害…2件
- 主な雨量(降り始めから10日正午まで)
- ・附馬牛(馬越)…154mm
- ・土淵(西内)…111mm

## Voice 皆さまの声

皆さまからお寄せいただきました話題や情報、ご意見などをご紹介します。

□①市の衣類のリサイクル活動について②コンポスト・電動生ごみ処理機の使い方について③コンポスト・電動生ごみ処理機の課題ーの3つについて教えてください(松崎町 K. Tさん)

■①10月中旬に開催する産業まつりの会場で、試験的に古着の回収を行う予定です。詳しくは産業まつり開催のチラシや広報遠野などでお知らせしますので、ぜひ、参加していただければと思います。

②コンポストや電動生ごみ処理機の使い方、生ごみの処理については、農閑期に全行政区を回って開催する環境学習会で説明します。日程は各区分長を通じてお知らせします。

③コンポスト容器での生ごみの堆肥化については生ごみの水切り、生ごみ酵素菌や枯葉の混入が不十分だと、腐敗による悪臭が発生します。適正に処理すれば最小限の悪臭ですみますので、ご協力をよろしく願います。電動生ごみ処理機は、バイオ式や乾燥式などさまざまな処理機が販売されており、いずれも家庭用電源を使用して簡単に生ごみを堆肥化できます。できあがった堆肥は、家庭菜園や観葉植物などの肥料や土壌改良剤としてお使いいただけます。(市環境課)

### 後方支援の記憶と記録

## 遠野市後方支援 活動検証記録誌

が発刊されました



東日本大震災における本市の後方支援活動の記録と検証結果をまとめた「遠野市後方支援活動検証記録誌」(A4判・343項)がこの度完成し、9月9日から市内取扱店で販売します。炊き出しや物資仕分けなどの支援活動を記録した写真や市民の皆さまからの寄稿文も掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

◎販売価格 2,000円(税抜き)

◎取扱店 道の駅遠野風の丘、内田書店、旅の蔵遠野(観光協会)、あえりあ遠野

◎問い合わせ 市沿岸被災地後方支援室 (☎ 0198-62-2111内線382)